



ニュースリリース 平成 28年 4月 1日

フィンテック対応強化に向けた本部組織改編について

株式会社常陽銀行（頭取 寺門 一義）は、フィンテック対応をさらに強化するため、平成 28 年 4 月 1 日付で本部組織の改編を下記のとおり行いましたのでお知らせいたします。

記

1. 組織改編内容

フィンテック※を活用し、お客様の利便性の向上ならびに行員によるコンサルティング提供力を更に高めていくため、銀行業務の改善・改革の役割を担う業務革新部に、新たに「フィンテック推進グループ」を設置いたします。

※ フィンテックとは、金融（Finance）と技術（Technology）を組み合わせた造語で、金融サービス業を I T の活用により革新する動きを指します。

2. 設置日

平成 28 年 4 月 1 日（金）

3. フィンテック活用に向けた外部パートナーとの取組み

当行は、これまでもフィンテックを活用し、お客様の利便性向上を図る取組みを進めております。今般、取組強化に向けた本部組織の改編を行うことといたしました。これにあわせ、外部パートナーとの連携による知見活用の一環として、以下の関係先と、当行が持つ取引履歴（ビッグデータ）の分析・活用に係る取組みを共同で行うこととしました。

国立研究開発法人産業技術総合研究所が開発した技術（APOSTOOL）をもとに、株式会社ロジックデザイン及び株式会社東急エージェンシーが共同開発した分析ツール（Target Finder）により、お客様の取引・行動を分析し潜在的なニーズの傾向を把握することで、これまで以上に、お客様のニーズに最適なサービスを適切なタイミングで提供することを実現してまいります。なお、当該技術・ツールを用いた取組みは国内金融機関初となります。

関係先	事業概要
国立研究開発法人 産業技術総合研究所	日本の産業を支える多様な分野の研究を行う、わが国最大級の公的研究機関（茨城県つくば市）
株式会社 ロジックデザイン	ソフトウェア開発、ビッグデータの分析・解析、地域自治体や教育機関と連携した研究開発等、幅広く事業を展開（茨城県水戸市）
株式会社 東急エージェンシー	生活者の意識や行動の変化をとらえた、品質の高い、最適なマーケティングソリューションを提供

今後も、フィンテックの対応を進め、お客様に提供する総合金融サービスの強化につなげてまいります。

以上